

水溶性防錆材：錆転換型 コンクリート露筋欠損部鉄筋部の防錆材

SK 錆止め剤

SK 錆止め剤は、コンクリート構造物の露筋個所の鉄筋部へ塗布浸透する事により、安定的な防錆皮膜を形成する錆転換型の浸透性錆止め材です。



1. 欠損状況



2. 欠損の撤去



3. 脆弱部の撤去



4. 鉄筋錆の撤去



5. SK 錆止め剤の塗布



6. プライマー塗布、SK モルタル充填仕上げ

SK 錆止め剤の特長

- 安定した防錆被膜を形成する事で、錆の進行を止める事ができます。
- 錆を十分に除去できない場合でも、SK 錆止め剤が浸透する事で赤錆から黒錆へ転換できます。
- 防錆皮膜を形成する事で外部からの酸素や水分等を遮断できます。

SK 錆止め剤の用途

- コンクリート構造物等の鉄筋部への浸透性防錆処理

性状

項目	性状内容
主成分	水溶性防錆材
外観	乳白色液体
密度	1.1g/cm ³
粘度 (23℃)	15 ± 5 mPa・s
指触乾燥時間 (23℃)	約 10 分

※各数値は測定値であり、保証値ではありません。

試験データ

試験項目		試験結果	品質性能・規格値
耐アルカリ性試験		塗膜に異常を認めない	塗膜に異常を認めないこと
鉄筋に対する付着強さ試験	N/mm ²	8.0	7.8 以上
	kgf/cm ²	82	80 以上
防せい性試験	処理部	90%	防せい率 50%以上
	未処理部	－ 1%	防せい率 － 10%以上

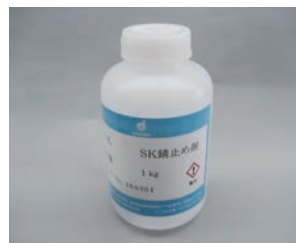
上記測定値は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修『建築改修工事監理指針』鉄筋コンクリート用防せい材の品質規格（案）と東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社 構造物施工管理要領「鉄筋防錆材の性能照査項目」の試験による。

包装容量

1kg丸ポリ容器入り

標準使用量

鉄筋部への塗布量：約 0.15 ～ 0.2kg/m²が目安



使用方法

1. 露筋個所の躯体脆弱部を除去する。
2. 露筋個所の鉄筋部の錆をワイヤブラシ等で出来る限り除去する。
3. SK錆止め剤を噴霧器や刷毛等で鉄筋部に塗布する。

注意事項

1. 眼に入った場合は、直ちに多量の清浄水で洗い、速やかに医師の診断を受けて下さい。
2. 皮膚に付着した場合は、直ちに清浄水で洗い落とし、湿疹や炎症の兆候が見受けられる場合は、医師の診断を受けて下さい。
3. 詳細な注意事項が必要な場合は、安全データシート（SDS）をご参照下さい。

免責事項：シーカ製品の施工および使用に関する推奨その他の情報は、当社の現時点での知識および経験に従ったものであり、通常の条件下で当社の推奨に従い適切に保管・処理・施工されることを前提としております。実際には、材料・接着面・現場の条件がそれぞれ異なるため、ここに記載されている情報、書面による推奨その他のアドバイスは、商品性や特定目的への適合性について保証するものではなく、また法的関係に基づく責任を生じさせるものではありません。ユーザーは、シーカ製品がユーザーの意図する施工方法および目的に適しているかどうかを、必ず事前に確認してください。特に、施工、施工管理及び施工に関する報告書の作成はユーザーの責任において行うものであることに留意ください。当社は、第三者の財産権を尊重し、製品の特性を変更する権利を有します。すべての注文は、当社の最新の販売・納品条件に従って受注します。ユーザーは常に、使用する製品のプロダクトデータシート及び実施する施工方法についての施工要領の最新版をご参照ください。プロダクトデータシート及び実施する施工方法についての施工要領の最新版は、ご請求いただければ当社がご提供いたします。

製品・工法に関するお問い合わせはホームページのブランドサイト <https://www.dyflex.co.jp/bousui/> にてご確認のうえ各地域のオフィスまでお願い申し上げます。

2023年4月1日よりシーカグループの株式会社ダイフレックスは日本シーカ株式会社に統合され、新たに **シーカ・ジャパン株式会社** としてスタートいたしました。

2023年 6月版

(’23.6月現在) ’23.06.1,000 SJ